

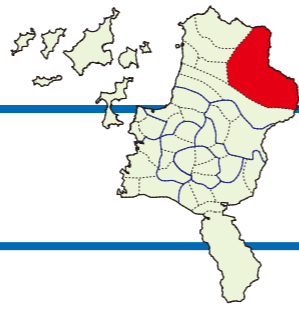
たていわ

立岩地区

面積：34.22 km²

人口：867人（高齢化率 57.0%）

世帯数：461世帯

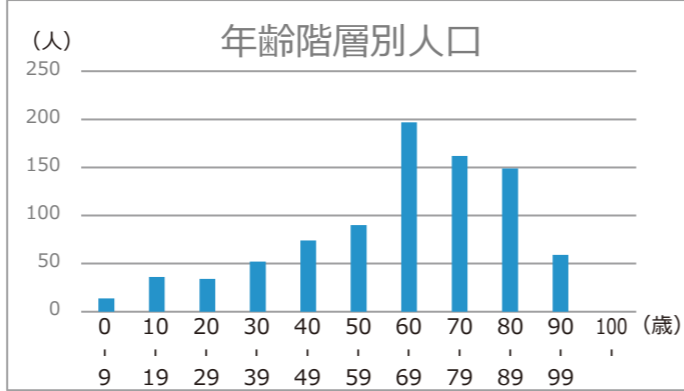


【地区の特色】

高縄山の北側、立岩川流域の18地区からなる立岩地域は、豊かな自然に囲まれた山間ののどかな山村地域である。子どもから高齢者まで地域住民全員参加の運動会、文化祭、スポーツレクリエーション、交流活動等が多数開催され、毎年5月には山一面につつじの花が咲き誇る貫之山を地域のシンボルとして守り育てている。



立岩つつじまつり



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため、各家庭の状況を皆が把握している ・区長会が機能している（町内行事参加率約98%） ・公民館の活動が活発→区長会が協力 ・地区内の関係団体等の連携がとりやすい ・自然が豊か
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化傾向が顕著 ・高齢化率約60% 若者が少なく諸行事が負担になる ・子どもが減り後継者がなく、獅子舞をやめた ・救急車が入りにくい道路がある ・働く場所がない ・自然が多く、災害の危険がある（地すべり、傾斜が多い）
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれる場所がない ・バスの本数も少なく、バス停までも遠い ・自然災害時の危険箇所の不安 ・車が運転できないと病院に行けない ・道幅が狭く、緊急車両が通れない場所がある ・子どもが少なく、行事ができない、若手不足で負担が大きい ・集会所のトイレが和式で利用しづらい

立岩地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館運営審議会・公民館・福祉施設・高齢クラブ・日赤奉仕団・小学校青少年健全育成会・PTA・スポーツ少年団・JA えひめ・交通安全協会・学識経験者	
主な取り組み	活動内容	
福祉だよりの発行	年1回作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。	
給食サービス（花垣弁当）	独居・寝たきり高齢者の希望者に対し、安否確認をかねて弁当とおやつを配っています。※紀貫之来遊伝説より立岩地区を「花垣の里」といわれたことから「花垣弁当」と名づけられました。	
小学校との交流	小学生と地域住民が小学校の校舎や校庭の清掃活動を一緒に行っています。	

いきいき健康教室

概ね3ヶ月毎に地域内の福祉施設等にご協力をいただき、健康に関する講座や調理から行う栄養教室、身体を実際に動かしての体操教室を開催しています。



<地区社協が目指すもの>

立岩地区は、松山市の中心地からもっとも遠い中山間地域です。今後は、ますます少子高齢化が進むことが予測されており不安な課題もありますが、ふるさとを大切にする住民の熱意と結束はとても強い地域です。

こうした地域性を活かして、住民参加の運動会、文化祭や5月のつつじ祭りなど交流活動の機会を通じて、助けあい精神を育む地域づくりを目指していきます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	5名 2名	■町内会・自治会・区長会等	18団体
	■まち協の設立	平成30年度	■高齢クラブ	3クラブ
			■子ども会	0団体
			■自主防災組織	12組織

中山間地域で人口が少なく住民の高齢化が顕著ではあるが、豊かな自然を活かして産官学連携による地域活動が盛んな地区でもあります。子どもたちの食育や農業体験学習を目指した「立岩ダッシュ村」をはじめ、夏祭りやつつじ祭りなど地域行事が多く最近では、このような恵まれた自然環境の中で子育てを望む子育て世代の住民も散見されます。地区住民が持つ助け合いの精神は、買い物、通院通学の手助け、高齢者世帯への声かけなど普段の暮らしから培われた地域力と、公的サービスや移動スーパー等の企業によるサービスをうまく組み合わせながら地域住民のより良い暮らしが継続されており、今後も社会資源を活用しながら地域力のさらなる強化を期待します。

ココがポイント



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

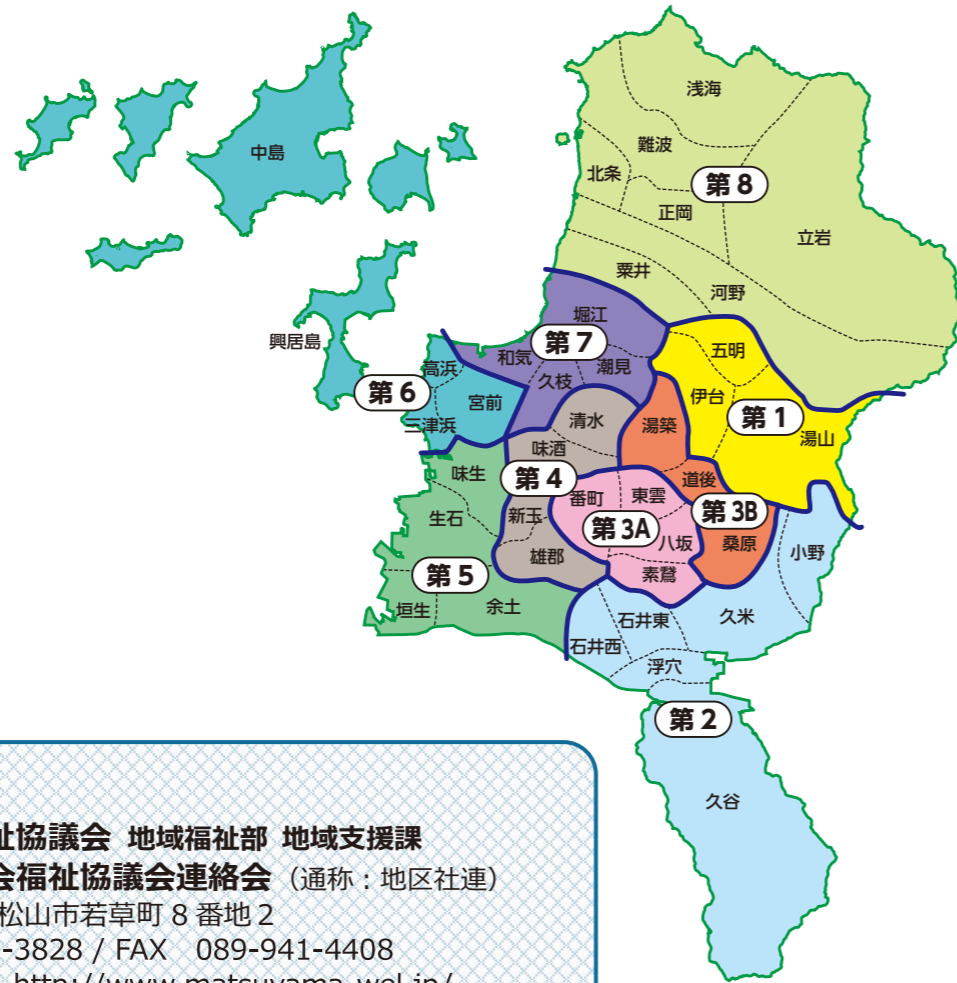
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏